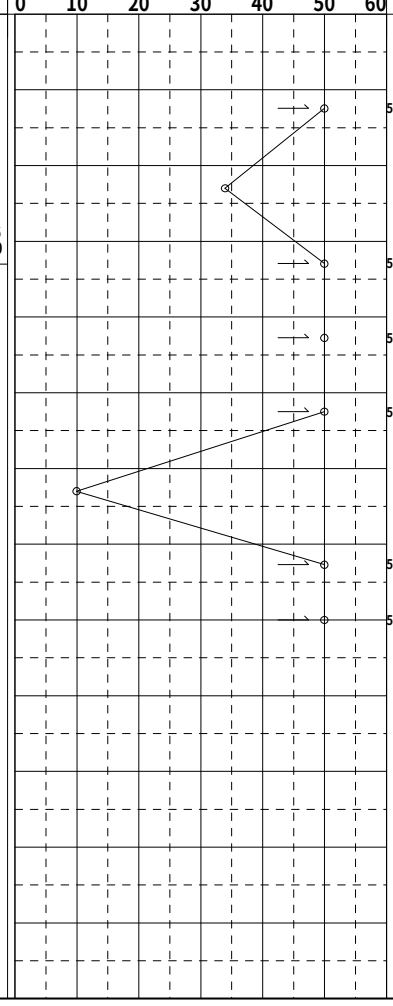
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	二級河川三津大川水系蚊無中西谷砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量設計等業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　橋梁・高架

ボーリング名	Bor-1	調査位置	広島県東広島市安芸津町三津			北緯	34° 20' 30.3409"
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			調査期間	令和3年 4月12日～ 令和3年 4月19日	東経	132° 47' 54.0788"
調査業者名	ケイ・エム調査設計株式会社 電　話 082-238-2371	主任技師	藤田　龍麻 地質調査技士登録番号：第23041号	現場代理人	藤田　龍麻 地質調査技士登録番号：第23041号	コア鑑定者	藤澤　知則 地質調査技士登録番号：
ボーリング責任者	石内　幹人 地質調査技士登録番号：第11590号						
孔口標高	TP 90.33m	角度	180°（上）、90°、0°（下）、0°	方向	0°北、90°東、180°南、270°西	地盤勾配	0°、水平0°、鉛直90°
使用機種	試錐機：東邦地下工機D1-B						
総削孔長	8.00m	エンジン	ヤンマー　NFD13	ポンプ	東邦地下工機BG-3		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	89.93	0.40		砂質土		褐灰			未固結の砂質土。	
1～6	84.33	6.00		玉石混り砂礫		黄褐灰	rd4		玉石はコア長5～10cm前後で、不均質に混入する。 最大コア長14cm。 岩片非常に硬質を呈する。 径5～50mm前後の亜角礫が主体。 礫間の土砂は細粒分を多く含み、強い粘性を帯びる。	4/16 3.30
6	83.68	6.65		礫混り粘土		褐		rc4	強い粘性を帯びる礫混り粘土。 細礫を混入する。	
7	82.93	7.40		玉石混り砂礫		黄褐灰	rd4		玉石は岩片非常に硬質を呈する。 礫間の土砂は細粒分を多く含み、強い粘性を帯びる。	
8	82.33	8.00		花崗斑岩		淡褐灰			花崗斑岩(軟岩相当)。 亀裂の発達する片状コア主体で採取。	



標準貫入試験 N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.15	8	42		50/190	190	
	1.34		90				
34	2.15	8	8	18	34/300		
	2.45						
50以上	3.15	15	14	21	50/290	290	
	3.44			90			
50以上	4.15	13	22	15	50/250	250	
	4.40			50			
50以上	5.15	24	26		50/200	200	
	5.35						
10	6.15	4	3	3	10/300		
	6.45						
50以上	7.15	6	8	36	50/240	240	
	7.39			40			
50以上	8.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				4/12
				4/14
				4/15
				4/16
				4/19